

- 管内 渡島管内
- 分類 避難訓練 危険対応能力 防災訓練 その他（ ）
- 教育課程 教科（ ）科 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 災害発生時に取るべき行動や身を守るための手段を身に付ける指導の実施
- 町指定の避難場所及び避難経路を確認し、避難時に落ち着いて迅速に行動できるようにする指導の実施
- 緊張感と危機意識を高める幼稚園、小学校、中学校、町民合同訓練の実施

取組の実際

ねらい

地震・津波等の発生による緊急時の対応について、町の防災訓練と連携して実施し、校外における避難経路及び避難方法等を確認することにより、安全・確実・迅速な避難方法の確認と防災意識の向上を図る。

内容

【想定】青森県太平洋沖を震源とするM8超の地震が発生。直後、震度5強の揺れが襲う。さらに、沿岸部に大津波警報発表。防災行政無線を通じて避難指示を受ける。

【避難場所】防災計画で定められた公園に避難

【避難訓練の流れ】

時間	場面設定	本校生徒の動き	小・中・地域住民の動き
10:00	○震度5強の地震が発生	・教員の指示により、安全な場所に身を隠す。	
10:03	・防災行政無線により大津波警報発表	・町から指定を受けている公園へ走って避難  【避難の様子】 ・徒歩で避難場所（旧小学校）へ移動	・徒歩で避難場所（旧小学校）へ避難 ・地域住民に声をかけながら避難場所へ避難
10:50	・講評及び各訓練開始	・町長、警察署長より講評 ・高校生及び地域住民は、消防職員指導のもと、次の訓練を行う。  【心肺蘇生法】  【初期消火訓練】	

成果と課題

- 町全体で訓練を行うことにより、通常の訓練以上の緊張感をもたせるとともに、危機意識や相互に助け合おうという意識の高揚を図ることができた。
- 避難時の行動や避難経路、身の守り方等を実践的に確かめることができた。
- 地震発生から避難指示までに要する時間が想定より長かったことから、原因を解明し、改善に向けて町や関係機関と協議する必要がある。